

主催：金沢大学医薬保健研究域附属サピエンス進化医学研究センター

第3回サピエンス進化医学研究センター研究交流セミナー

プロテオミクスの進歩と 考古試料への応用



趣旨

学内外での研究交流や知識・技術共有等を主として当研究センターが実施する様々な研究分野に関する最新動向（トレンド）やその分野の基本となる研究知識や基礎技術の紹介を行います。

講演者

西内 巧 先生（疾患モデル総合研究センター・疾患オミクス解析分野）

概要

タンパク質の網羅的解析技術であるプロテオミクスは、質量分析計の進歩とともに大きく発展してきた。なかでもOrbitrap型アナライザーの登場により、感度や分解能が飛躍的に向上し、考古試料に微量に残存するタンパク質の高精度な同定と定量が可能となった。従来から用いられてきたZoomMS（出土動物骨中のコラーゲンを用いた種判別法）に加え、歯石や糞便といった複雑な試料からも多様な生物種の同定が可能となり、古代人の疾病や食性の推定が進展している。本セミナーでは、プロテオミクスの基本原理を概説するとともに、パレオプロテオミクスの研究事例を紹介し、現在進行中の関連研究の進捗についても報告する。

日時

2025年 7月 10日（木） 17:00～18:00

（※セミナー終了後は会場の利用終了時刻まで自由に質疑・討論可能です）

場所

金沢大学医学部図書館・十全記念スタジオ

会場案内はこちら→



参加方法

事前登録無（どなたでもご参加いただけます）

問い合わせ先：  ishiya@staff.kanazawa-u.ac.jp